

昭和四十四年七月二十一日提出  
質問 第一一 号

わが国民族の将来と人口政策に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和四十四年七月二十一日

提出者 坂本三十次

衆議院議長 松田竹千代殿

わが国民族の将来と人口政策に関する質問主意書

六月二十七日、東京会館で開かれた新聞協会会員総会において、佐藤総理は「総合的国力という点からみた人口問題」について「人口減によるわが国民族の将来を危ぐするものとして、民族の将来と人口政策が今日ほど必要なときはない。人口問題を重要な政策目標にしたい。」といわれたが、これについて次の質問をいたしたい。

一、今日のわが国の出生率は横ばい状態であるが、期待される国力の未来像とあわせて人口を科学的に検討した総合的プランはどうか。

二、出生率の回復をはかり、優秀な民族をつくるためには児童手当の必要も急務であると考えますが、一方、税制、育英資金等の面での具体策はどうか。

三、優生保護法の乱用は慣習化の傾向にあるが、同法の改正、運用についての考えはどうか。

右質問する。